「沼津ファン」を増やすにぎわいづくり

作中でリアルに描かれた市内各所の風景を実際に見て回ることはもちろん、海に沈む夕日や香貫山からの眺め、新鮮な海産物など、沼津ならではの楽しみ方を見つけ何度も訪れるファンが増えてきています。

そんなファンに沼津の魅力を知り、もっと楽しんでもらおうとするにぎわいづくりが市内各所で行われています。

1 2 作品にちなんだ料理を楽しむファンでにぎわうSUN!SUN! サンシャイン Cafe
3 中央公園で開催されたラッピングバスのイベント 4 きつねの嫁入り行列に参加したファン

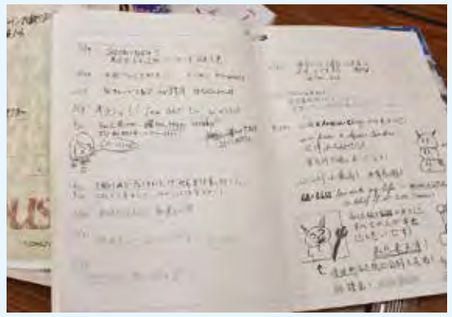
三の浦総合案内所

ファンと地元の交流の場

三浦地区に訪れる観光客の案内拠点である三の浦総合案内所はアニメが放映される以前からファンが訪れ始め、今では交流の場になっています。

きっかけは一人のファンが持ってきた交流ノートでした。訪れるファンが増えるにつれ、ノートを通じたファン同士の交流が広がり、たくさんのファンが集まる場所となりました。また、そんな案内所のにぎわいに興味を持った地元の人たちとファンの間にも交流が生まれ、地元の人たちが「ラブライブ!サンシャイン!!」という作品やそのファンについて知ることに繋(つな)がっていきました。

案内所の大村さんは「ファンの皆さんが『地域に迷惑をかけない』をスローガンに舞台訪問のルールを作り拡散したり、地元のボランティアの会に参加して地域のお祭りの準備等を手伝ってくれたりと地元に溶け込みながら沼津を楽しんでくれています。そんな姿を近くで見ている地元の皆さんも、暖かく迎え入れています。こうしたアットホームな雰囲気が、ファンの皆さんが何度も足を運んでくれることに繋がっていると思います」と語ります。



▲作品や沼津に対するファンの思いが詰まった交流ノートは20冊を超え、まだ増えている

三の浦総合案内所　職員
大村文子さん

▲休日には1日に300～400人のファンが訪れにぎわう

三津旅館組合

地域の魅力を楽しむ

「ラブライブ!サンシャイン!!」の舞台訪問だけでなく、作中には出ていない内浦・西浦本来の魅力を楽しんでもらおうと開催されたパズルラリー。自分の手でピースを集めてパズルを完成させる喜びに併せ、海越しの富士山や山の斜面を彩るみかん畑など、海と山を同時に味わうことができる素晴らしいロケーションを多くのファンが楽しみました。

地域に多くのファンが訪れていることについて組合長の髙野さんは「地域の歴史や魅力などを伝える良い機会。地域のことを深く知り、舞台訪問とは異なる楽しみを見つけてもらうために、私たちから積極的に交流し魅力を伝えるようにしています。また、地域とまちなかの連携を深め、『オール沼津』でのおもてなしを意識し、ファンの皆さんに楽しんでもらえる取り組みを仕掛けていきたいですね」と語ります。

◀パズル(下写真)を完成させるともらえるオリジナル証明書

三津旅館組合　組合長
髙野貴好さん

SUN!SUN! サンシャイン Cafe(雄大フェスタ)

地域とまちなかを繋げる

JR沼津駅南口に昨年オープンし「ラブライブ!サンシャイン!!」一色の店内で、作品にちなんだ料理等を楽しめることから多くのファンが訪れています。

また、メニューや土産物に特産品を使用することで、ファンの「もっと沼津を知りたい」という気持ちを刺激し、市内各地を回り沼津を楽しむという流れに繋げています。

沼津のにぎわいについて店長の塚原さんは「作品が注目され始めた時は、三島駅から主な舞台である内浦へと行き来するファンが多かったようです。しかし、カフェオープン後は沼津駅まで来るファンが増え、まちなかのにぎわいを感じています。また、市内をめぐったファンの皆さんからは、沼津の自然の美しさや人柄の良さをよく耳にします。これからも訪れた人たちが沼津を隅々まで楽しめるよう、何度来ても飽きさせない仕掛けや沼津の魅力の伝え方を考えていきたいです」と語ります。

SUN!SUN! サンシャイン Cafe　店長
塚原節男さん

▲登場キャラクターをイメージしたドリンク

あげつち商店街

ファンと沼津の魅力を共有

作中に商店街の風景が出たことをきっかけに「作品を知ろう」という意識が高まり勉強会を開いたあげつち商店街。作品やファンについての理解を深めたことで、商店街の人たちがファンとの会話を楽しんでいます。そんな商店街の暖かな雰囲気が、商店街の人たちとの交流を目的に沼津を訪れるファンを増やしています。

組合理事の峯さんは「昨年は、恒例行事『きつねの嫁入り行列』にファンの皆さんが参加してくれました。このように地域の行事にも興味を持ってくれるのは何より嬉しいですね。また、フォトコンテストを開催した時には、沼津の魅力を写した写真が多数応募され、私たちが普段気付かない、見落としている魅力の再発見に繋がりました。これからもファンの皆さんとの交流を大切にし、沼津の魅力を共有していきたいですね」と語ります。

あげつち商店街振興組合　理事
峯知美さん

▲県内外から約270点もの応募があった「沼津のココが好き」フォトコンテスト